

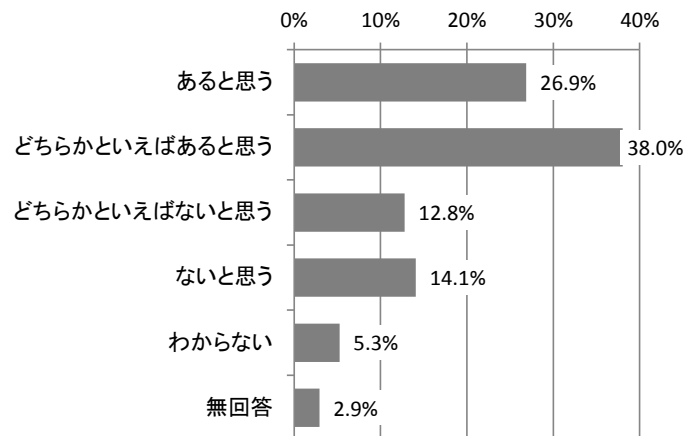
【4 就業について】

問 11 就業に関してお伺いします。

(1) 仕事をこなす能力に対する男女差はありますか。(〇は1つ)

「どちらかといえばあると思う」が 38.0%と最も多く、「あると思う」と合わせると 6割以上となっています。

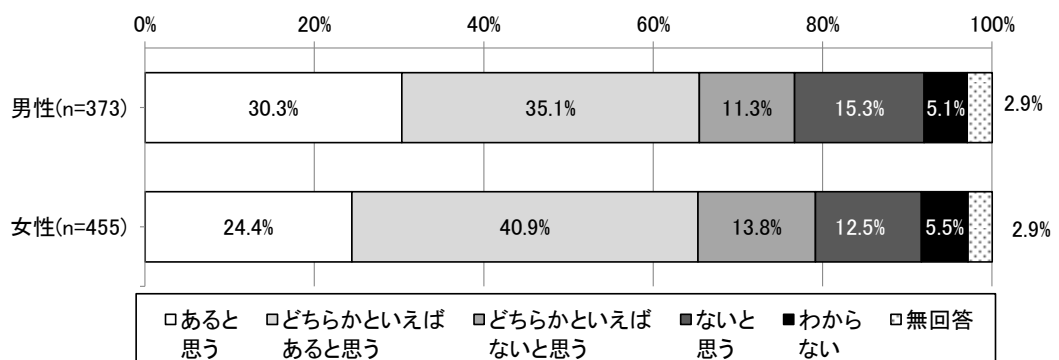
また「ないと思う」「どちらかといえばないと思う」を合わせると 26.9%となっています。



項目	回答数	構成比
あると思う	229	26.9%
どちらかといえばあると思う	324	38.0%
どちらかといえばないと思う	109	12.8%
ないと思う	120	14.1%
わからない	45	5.3%
無回答	25	2.9%
合計	852	100.0%

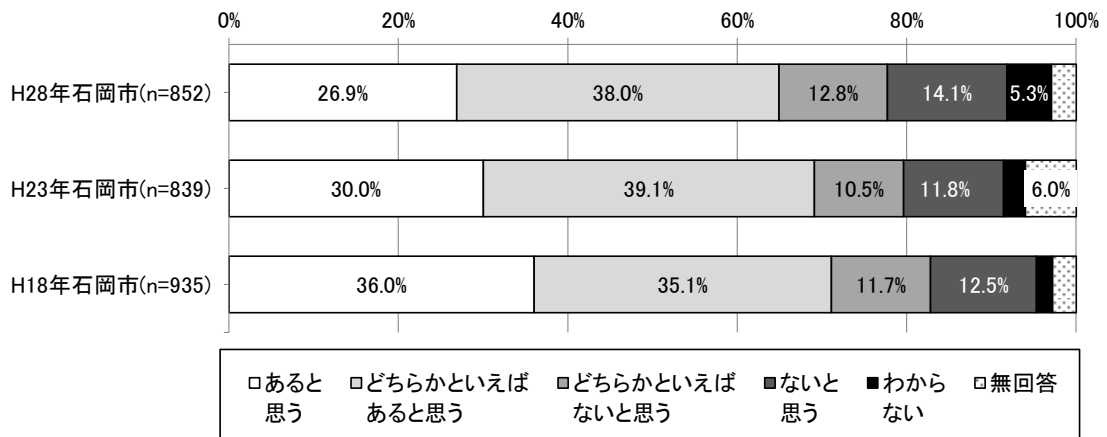
【性別 (1) 仕事をこなす能力に対する男女差 クロス集計】

性別で比較すると男性で「あると思う」が 5.9ポイント多くなっています。



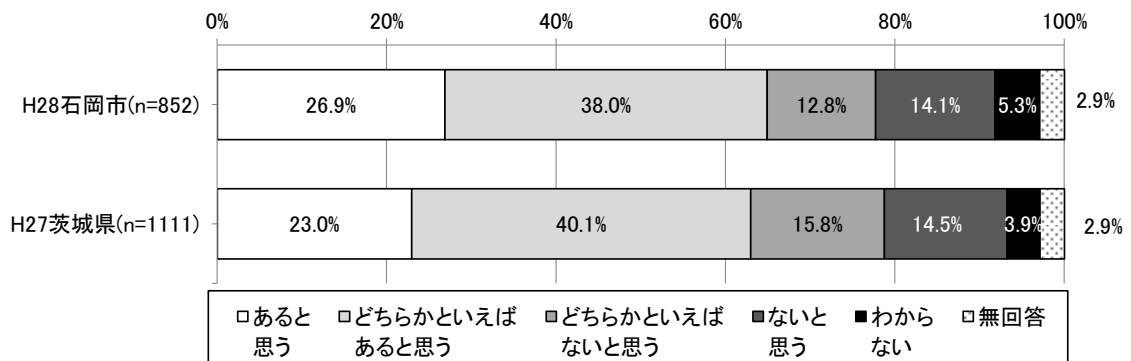
【経年（1）仕事をこなす能力に対する男女差 クロス集計】

経年で比較すると「あると思う」「どちらかといえばあると思う」を合わせると平成18年、平成23年、平成28年と徐々に減少しています。



【茨城県（1）仕事をこなす能力に対する男女差 クロス集計】

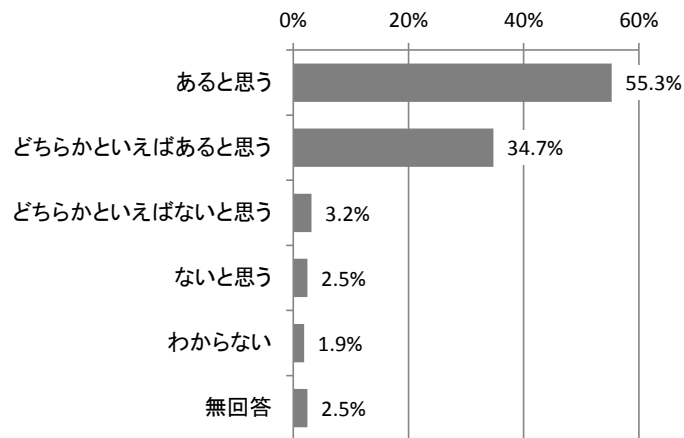
茨城県と比較すると「あると思う」「どちらかといえばあると思う」を合わせると茨城県よりも1.8ポイント多くなっています。



(2) 男性向き, 女性向きの仕事内容はあると思いますか。(〇は1つ)

「あると思う」が 55.3%と最も多く、「どちらかといえばあると思う」と合わせると9割となっています。

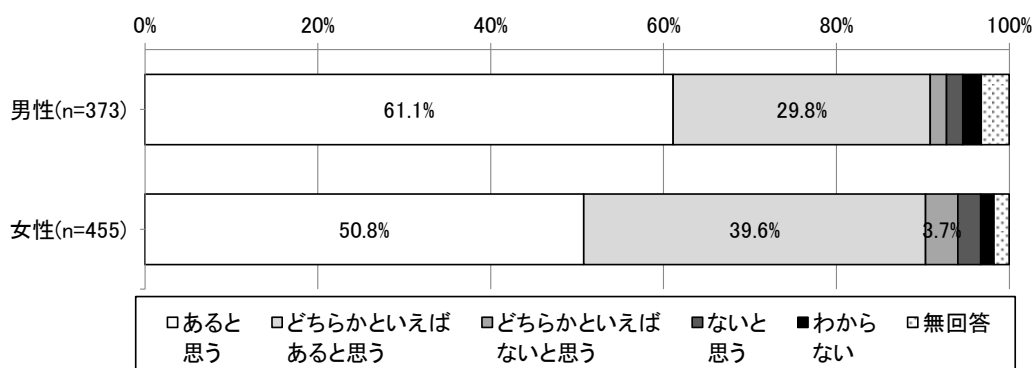
また「ないと思う」「どちらかといえばないと思う」を合わせると 5.7%となっています。



項目	回答数	構成比
あると思う	471	55.3%
どちらかといえばあると思う	296	34.7%
どちらかといえばないと思う	27	3.2%
ないと思う	21	2.5%
わからない	16	1.9%
無回答	21	2.5%
合計	852	100.0%

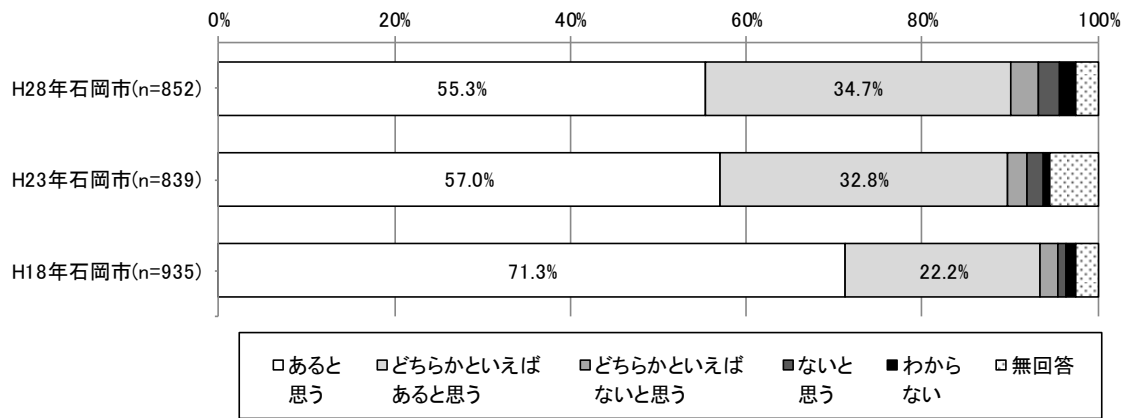
【性別 (2) 男性向き, 女性向きの仕事内容はある クロス集計】

性別で比較すると男性の「あると思う」が 10.3 ポイント多くなっています。



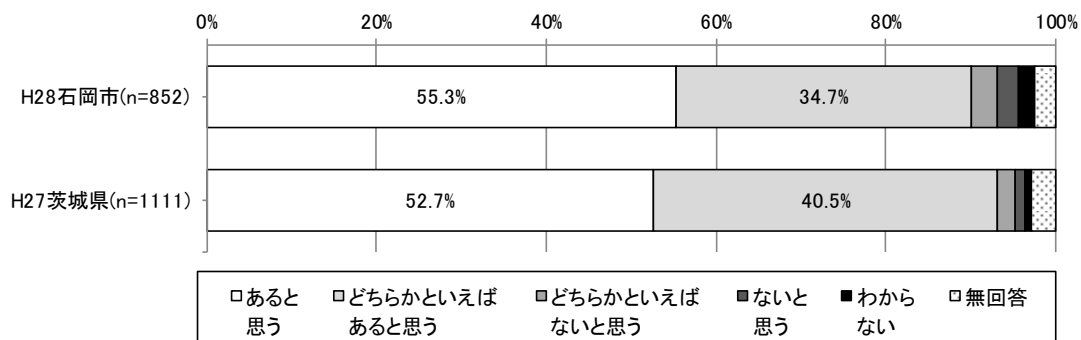
【経年（2）男性向き，女性向きの仕事内容はある クロス集計】

経年で比較すると「あると思う」「どちらかといえばあると思う」を合わせると平成 18 年から 3.5 ポイント減少しています。特に「あると思う」では，大きく減少しています。



【茨城県（2）男性向き，女性向きの仕事内容はある クロス集計】

茨城県と比較すると「あると思う」「どちらかといえばあると思う」を合わせると茨城県よりも 3.2 ポイント少なくなっています。

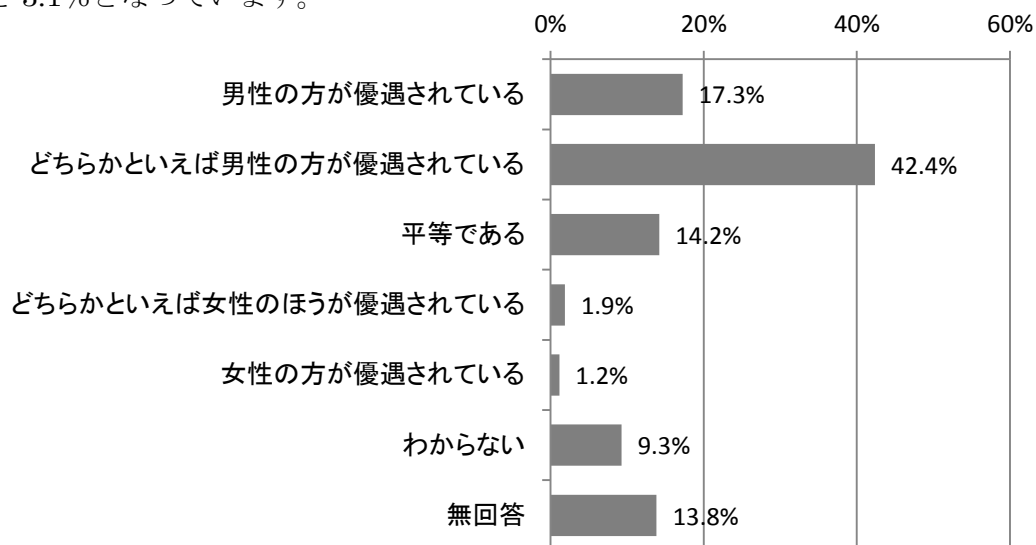


問 12-1 職場における男女の地位は平等になっていると思いますか。

(3 ページ問 1 の (2) 職場と同じ答えになります。)(○は 1 つ)

「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 42.4%と最も多く、「男性の方が優遇されている」と合わせると約 6 割となっています。

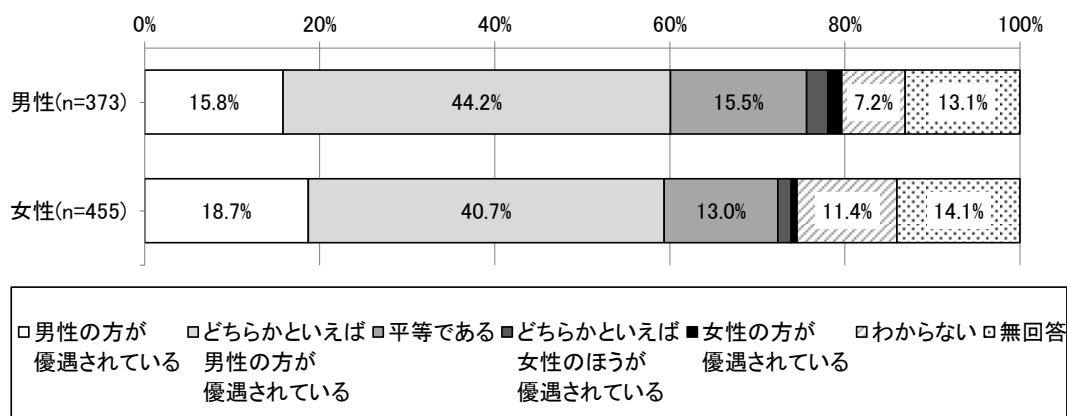
また「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」を合わせると 3.1%となっています。



項目	回答数	構成比
男性の方が優遇されている	147	17.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	361	42.4%
平等である	121	14.2%
どちらかといえば女性のほうが優遇されている	16	1.9%
女性の方が優遇されている	10	1.2%
わからない	79	9.3%
無回答	118	13.8%
合計	852	100.0%

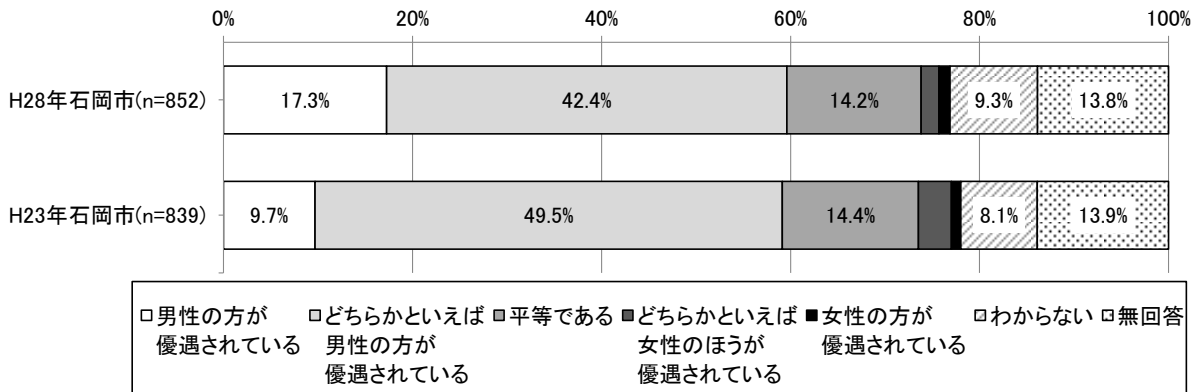
【性別 クロス集計】

性別で比較すると女性の方が「男性の方が優遇されている」が 2.9 ポイント多くなっています。



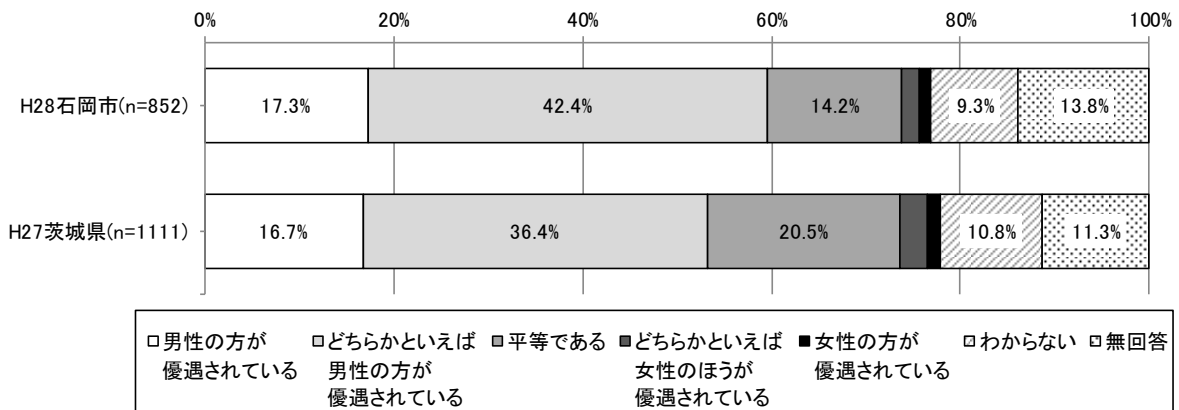
【経年 クロス集計】

経年で比較すると「男性の方が優遇されている」が平成 23 年から 7.6 ポイント増加しています。



【茨城県 クロス集計】

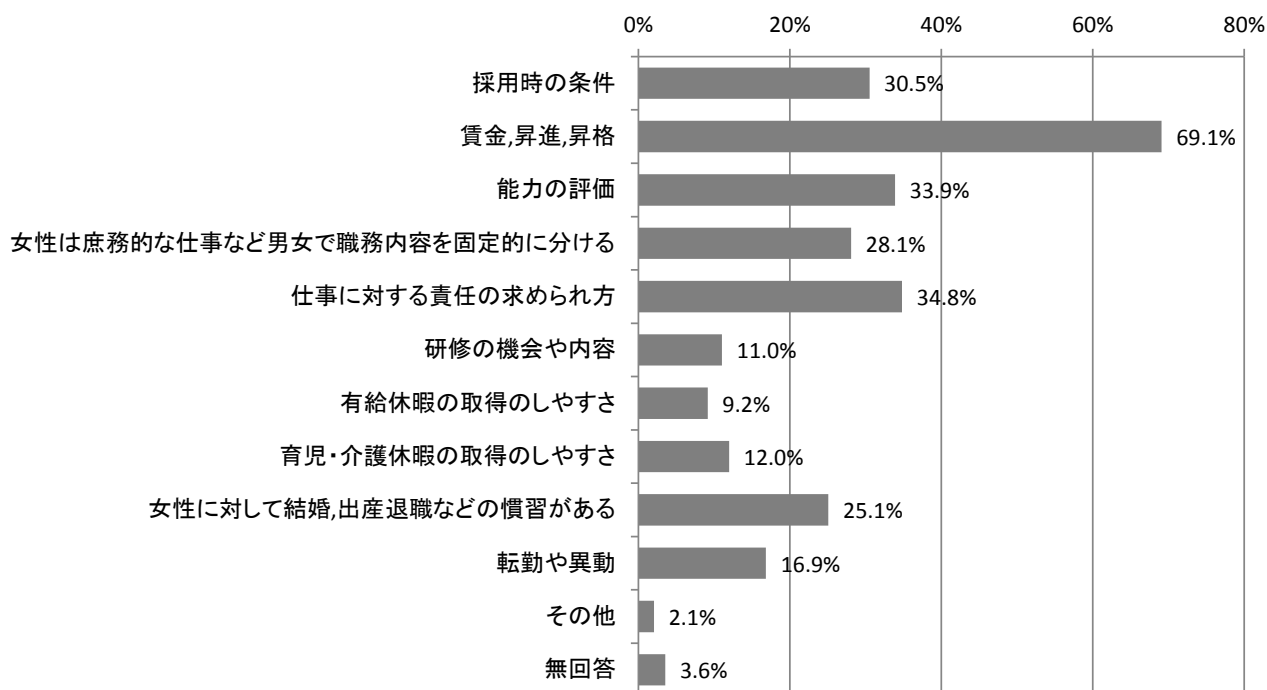
茨城県と比較すると「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると茨城県よりも 6.6 ポイント多くなっています。



問 12-2 問 12-1 で， 1， 2， 4， 5 とお答えいただいた方にお伺いします。

その具体的な内容はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

「賃金，昇進，昇格」が 69.1%と最も多く，次いで「仕事に対する責任の求められ方」34.8%，「能力の評価」33.9%，「採用時の条件」30.5%，「女性は庶務的な仕事など男女で職務内容を固定的に分ける」28.1%となっています。



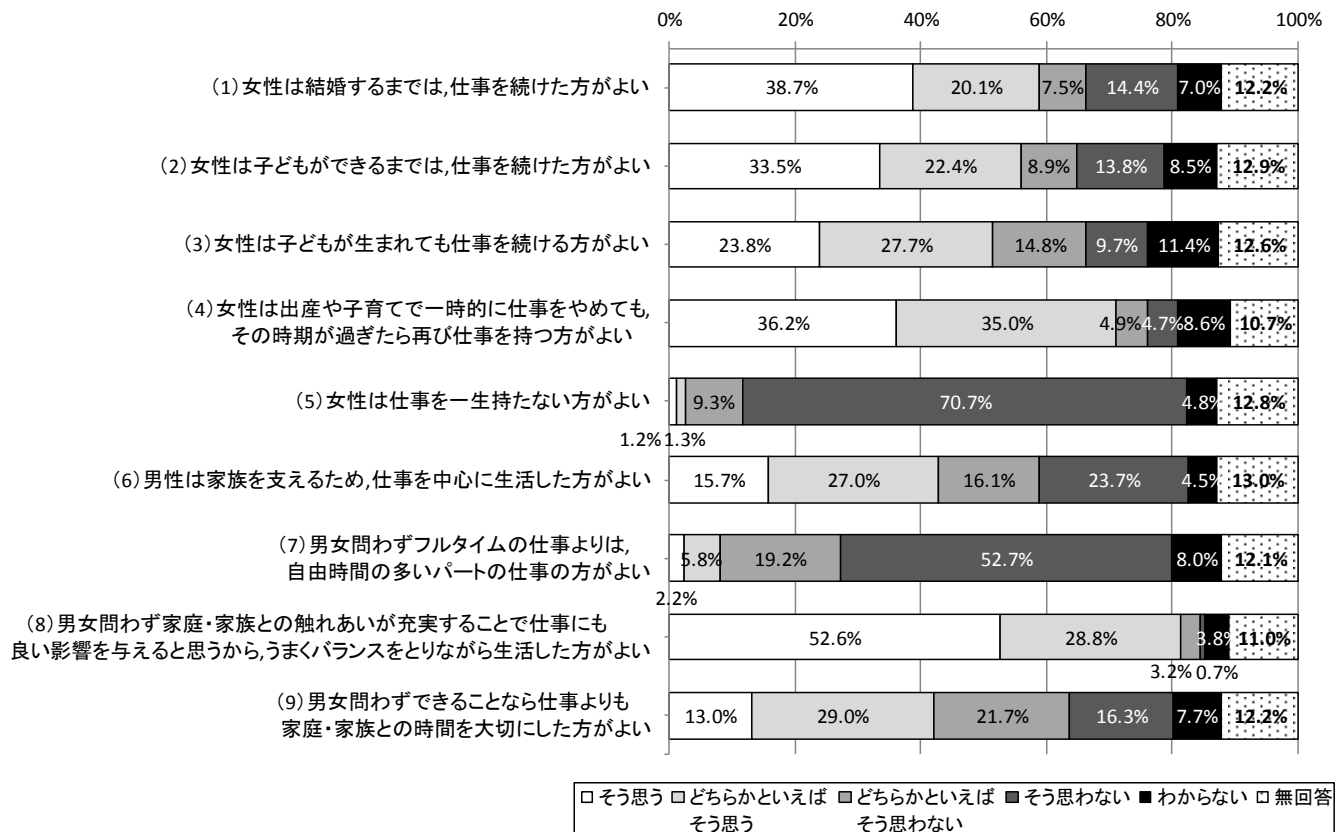
項目	回答数	構成比
採用時の条件	163	30.5%
賃金,昇進,昇格	369	69.1%
能力の評価	181	33.9%
女性は庶務的な仕事など男女で職務内容を固定的に分ける	150	28.1%
仕事に対する責任の求められ方	186	34.8%
研修の機会や内容	59	11.0%
有給休暇の取得のしやすさ	49	9.2%
育児・介護休暇の取得のしやすさ	64	12.0%
女性に対して結婚,出産退職などの慣習がある	134	25.1%
転勤や異動	90	16.9%
その他	11	2.1%
無回答	19	3.6%
回答者数	534	
非該当	318	
合計	852	

問 13 次の仕事へのかかわり方について、あなたはどうお考えですか。

(それぞれについて該当する「1～5」に○を1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が多い項目は、「(8) 男女問わず家庭・家族との触れあいが充実することで仕事にも良い影響を与えると思うから、うまくバランスをとりながら生活した方がよい」、「(4) 女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい」となっています。

また、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が多い項目は、「(5) 女性は仕事を一生持たない方がよい」、「(7) 男女問わずフルタイムの仕事よりは、自由時間の多いパートの仕事の方がよい」となっています。



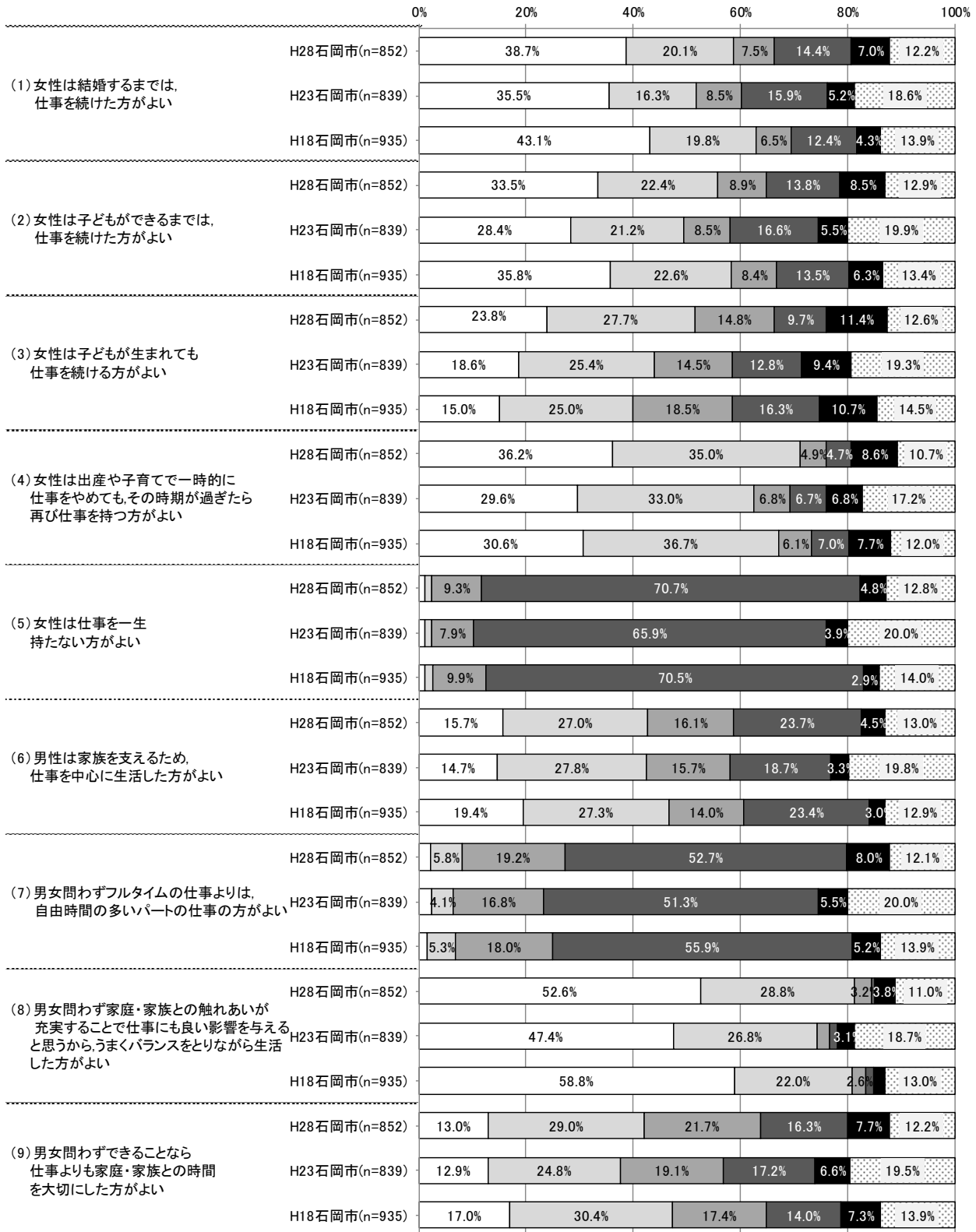
項目	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	合計
(1) 女性は結婚するまでは、仕事を続けた方がよい	330	171	64	123	60	104	852
(2) 女性は子どもができるまでは、仕事を続けた方がよい	285	191	76	118	72	110	852
(3) 女性は子どもが生まれても仕事を続ける方がよい	203	236	126	83	97	107	852
(4) 女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい	308	298	42	40	73	91	852
(5) 女性は仕事を一生持たない方がよい	10	11	79	602	41	109	852
(6) 男性は家族を支えるため、仕事を中心に生活した方がよい	134	230	137	202	38	111	852
(7) 男女問わずフルタイムの仕事よりは、自由時間の多いパートの仕事の方がよい	19	49	164	449	68	103	852
(8) 男女問わず家庭・家族との触れあいが充実することで仕事にも良い影響を与えると思うから、うまくバランスをとりながら生活した方がよい	448	245	27	6	32	94	852
(9) 男女問わずできることなら仕事よりも家庭・家族との時間を大切にされた方がよい	111	247	185	139	66	104	852

項目(構成比)	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	合計
(1) 女性は結婚するまでは、仕事を続けた方がよい	38.7%	20.1%	7.5%	14.4%	7.0%	12.2%	100.0%
(2) 女性は子どもができるまでは、仕事を続けた方がよい	33.5%	22.4%	8.9%	13.8%	8.5%	12.9%	100.0%
(3) 女性は子どもが生まれても仕事を続ける方がよい	23.8%	27.7%	14.8%	9.7%	11.4%	12.6%	100.0%
(4) 女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい	36.2%	35.0%	4.9%	4.7%	8.6%	10.7%	100.0%
(5) 女性は仕事を一生持たない方がよい	1.2%	1.3%	9.3%	70.7%	4.8%	12.8%	100.0%
(6) 男性は家族を支えるため、仕事を中心に生活した方がよい	15.7%	27.0%	16.1%	23.7%	4.5%	13.0%	100.0%
(7) 男女問わずフルタイムの仕事よりは、自由時間の多いパートの仕事の方がよい	2.2%	5.8%	19.2%	52.7%	8.0%	12.1%	100.0%
(8) 男女問わず家庭・家族との触れあいが充実することで仕事にも良い影響を与えると思うから、うまくバランスをとりながら生活した方がよい	52.6%	28.8%	3.2%	0.7%	3.8%	11.0%	100.0%
(9) 男女問わずできることなら仕事よりも家庭・家族との時間を大切にされた方がよい	13.0%	29.0%	21.7%	16.3%	7.7%	12.2%	100.0%

【経年 クロス集計】

経年で比較すると「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると「(3) 女性は子どもが生まれても仕事を続ける方がよい」で平成18年、平成23年、平成28年と徐々に増加しています。

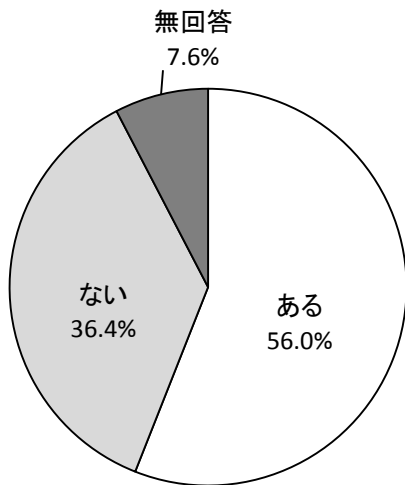
また、他の項目では全体的に「(どちらかといえば) そう思う」が、平成18年から平成23年に減少し、平成28年に増加もしくは横ばいになっています。



□そう思う □どちらかといえば □どちらかといえば □そう思わない ■わからない □無回答
 そう思う そう思わない

問 14-1 あなたは途中で仕事を辞めた経験がありますか。(〇は1つ)

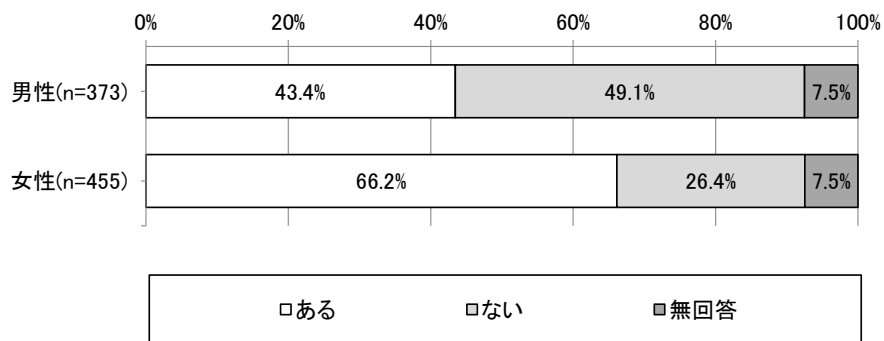
「ある」が56.0%、「ない」が36.4%となっています。



項目	回答数	構成比
ある	477	56.0%
ない	310	36.4%
無回答	65	7.6%
合計	852	100.0%

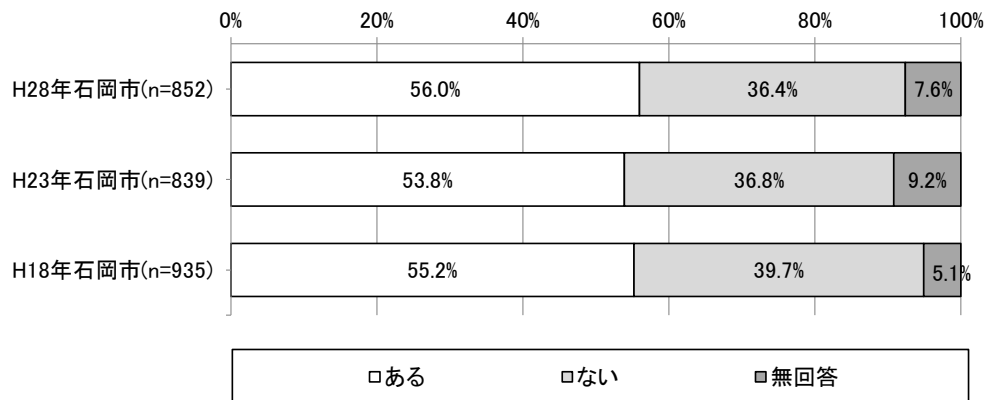
【性別 クロス集計】

性別で比較すると「女性」の「ある」が22.8ポイント多くなっています。



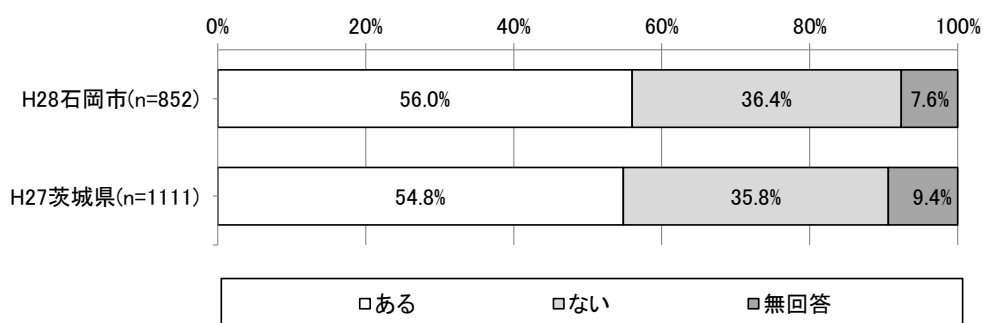
【経年 クロス集計】

経年で比較すると「ない」が平成18年より3.3ポイント減少しています。



【茨城県 クロス集計】

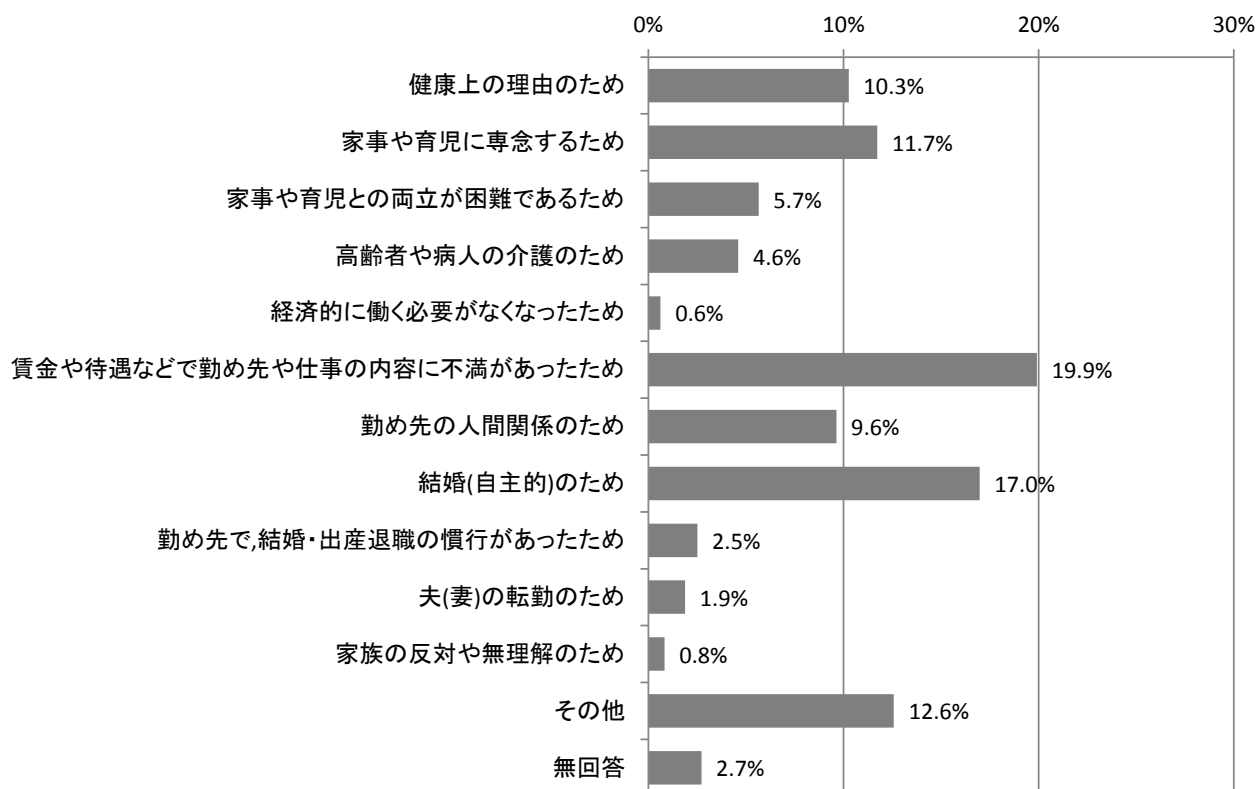
茨城県と比較するとほぼ同様の結果となっています。



問 14-2 問 14-1 で 1 の「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。

仕事を辞めた主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「賃金や待遇などで勤め先や仕事の内容に不満があったため」が 19.9%と最も多く、次いで「結婚(自主的)のため」が 17.0%、「家事や育児に専念するため」11.7%、「健康上の理由のため」10.3%となっています。

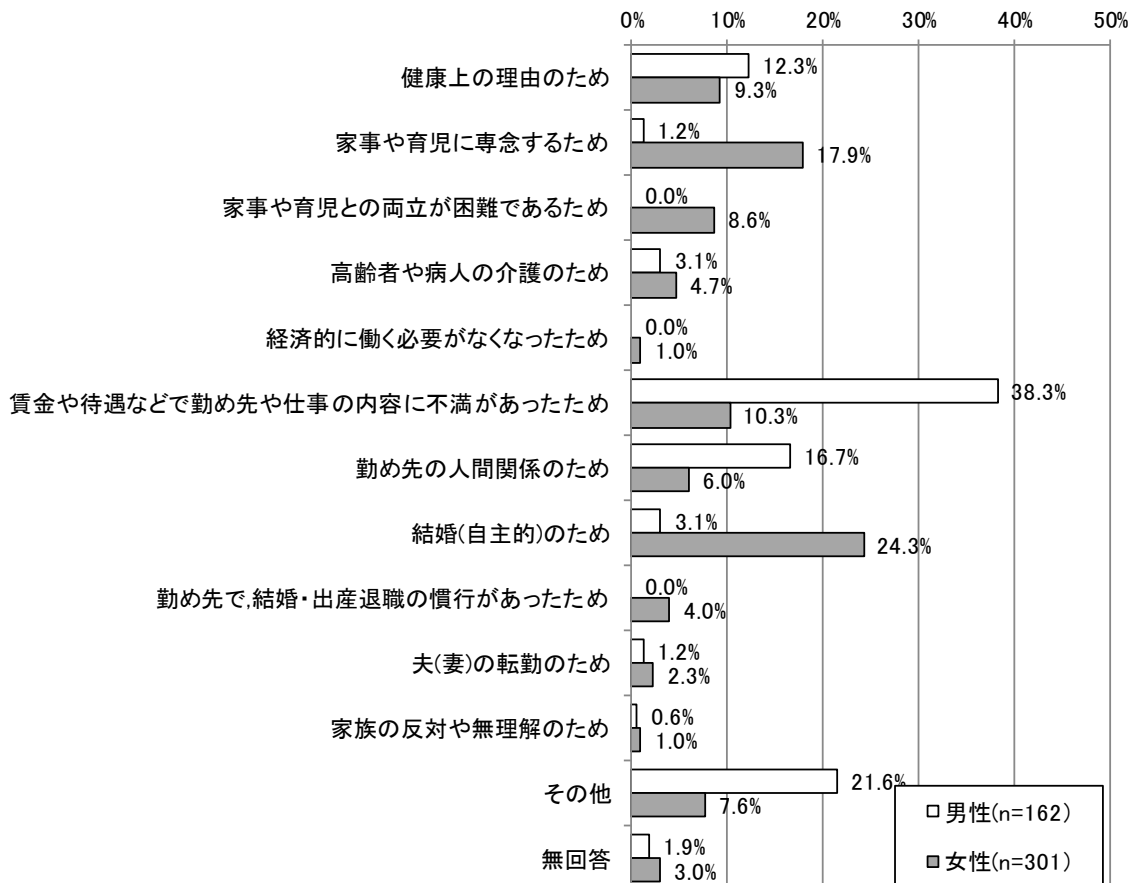


項目	回答数	構成比
健康上の理由のため	49	10.3%
家事や育児に専念するため	56	11.7%
家事や育児との両立が困難であるため	27	5.7%
高齢者や病人の介護のため	22	4.6%
経済的に働く必要がなくなったため	3	0.6%
賃金や待遇などで勤め先や仕事の内容に不満があったため	95	19.9%
勤め先の人間関係のため	46	9.6%
結婚(自主的)のため	81	17.0%
勤め先で、結婚・出産退職の慣行があったため	12	2.5%
夫(妻)の転勤のため	9	1.9%
家族の反対や無理解のため	4	0.8%
その他	60	12.6%
無回答	13	2.7%
回答者数	477	100.0%
非該当	375	
合計	852	

【性別 クロス集計】

性別で比較すると男性で「賃金や待遇などで勤め先や仕事の内容に不満があったため」が 28.0 ポイント、「勤め先の人間関係のため」が 10.7 ポイント多くなっています。

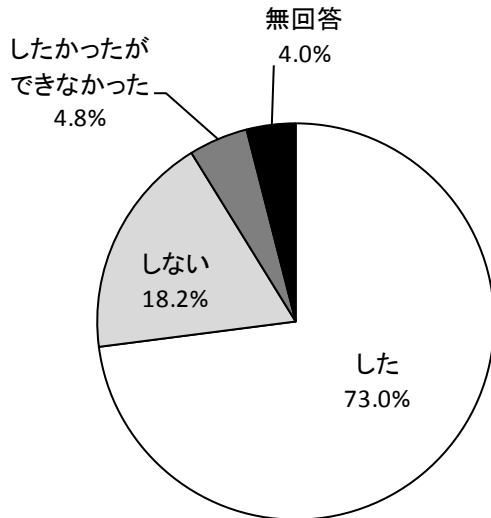
また、女性では「結婚(自主的)のため」が 21.2 ポイント、「家事や育児に専念するため」が 16.7 ポイント、「家事や育児との両立が困難であるため」が 8.6 ポイント多くなっています。



問 14-3 問 14-1 で 1 の「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。

仕事を辞めたあと、再就職しましたか。(〇は1つ)

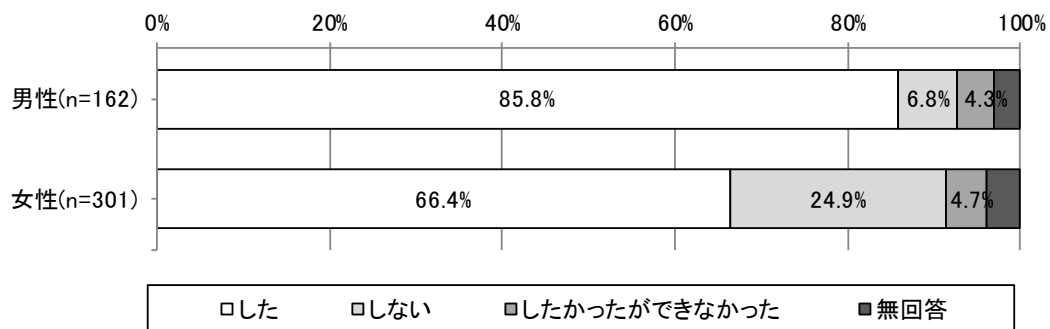
「した」が 73.0%、「しない」が 18.2%、「したかったができなかった」が 4.8%となっています。



項目	回答数	構成比
した	348	73.0%
しない	87	18.2%
したかったができなかった	23	4.8%
無回答	19	4.0%
回答者数	477	100.0%
非該当	375	
合計	852	

【性別 クロス集計】

性別で比較すると男性で「した」が 19.4 ポイント多くなっています。



**問 14-4 問 14-3で3の「したかったができなかった」とお答えいただいた方にお伺い
 します。再就職できなかった理由はなんですか。(〇は3つまで)**

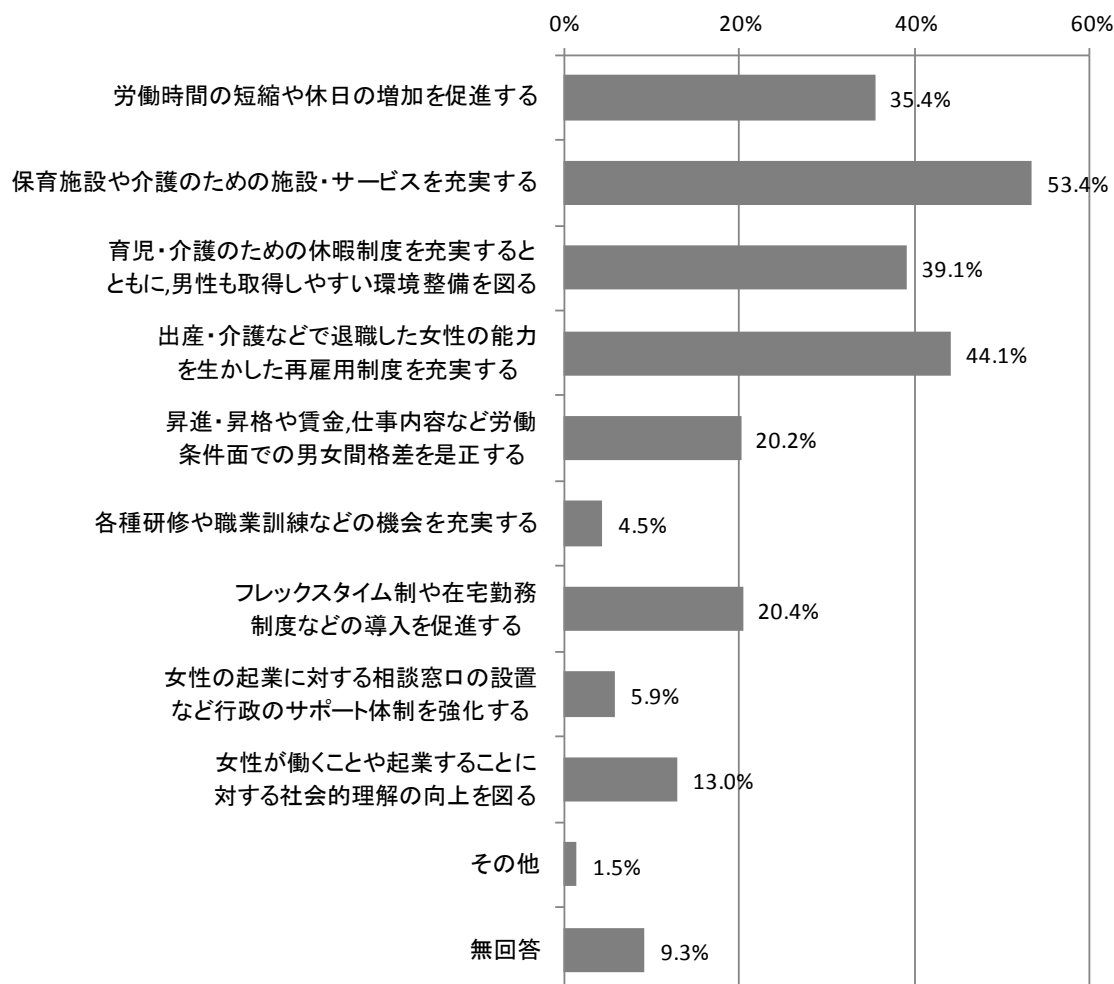
「希望する仕事(職種)が見つからなかった」が7件と多く、次いで「希望する雇用形態(待遇・時間帯)の仕事が見つからなかった」、「自宅の近く又は通勤が可能な地域で見つからなかった」が同数の6件となっています。

項目	回答数	構成比
希望する仕事(職種)が見つからなかった	7	30.4%
希望する雇用形態(待遇・時間帯)の仕事が見つからなかった	6	26.1%
家庭生活とのバランスや両立が難しかった	4	17.4%
自宅の近く又は通勤が可能な地域で見つからなかった	6	26.1%
自宅や職場近くで子どもをあずける場所が見つからなかった	1	4.3%
仕事に見合う資格がなかった	3	13.0%
パートナーの協力や理解が得られなかった	4	17.4%
自身の体力・健康上の理由	1	4.3%
家族の健康	2	8.7%
夫の税金控除や扶養手当との関係	2	8.7%
再就職することに対して不安があった	1	4.3%
その他	9	39.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	
非該当	829	
合計	852	

※回答者数が少ないため表のみ記載しています。

問 15 女性が働きやすくするためにはどんなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「保育施設や介護のための施設・サービスを充実する」が53.4%と最も多く、次いで「出産・介護などで退職した女性の能力を生かした再雇用制度を充実する」44.1%、「育児・介護のための休暇制度を充実するとともに、男性も取得しやすい環境整備を図る」39.1%、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」35.4%となっています。



項目	回答数	構成比
労働時間の短縮や休日の増加を促進する	302	35.4%
保育施設や介護のための施設・サービスを充実する	455	53.4%
育児・介護のための休暇制度を充実するとともに、男性も取得しやすい環境整備を図る	333	39.1%
出産・介護などで退職した女性の能力を生かした再雇用制度を充実する	376	44.1%
昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件面での男女間格差を是正する	172	20.2%
各種研修や職業訓練などの機会を充実する	38	4.5%
フレックスタイム制や在宅勤務制度などの導入を促進する	174	20.4%
女性の起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制を強化する	50	5.9%
女性が働くことや起業することに対する社会的理解の向上を図る	111	13.0%
その他	13	1.5%
無回答	79	9.3%
回答者数	852	

【経年 クロス集計】

経年で比較すると「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」, 「昇進・昇格や賃金, 仕事内容など労働条件面での男女間格差を是正する」, 「フレックスタイム制や在宅勤務制度などの導入を促進する」が平成18年, 平成23年, 平成28年と徐々に増加しています。特に「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」では, 平成18年と比較すると15.2ポイント増加しています。

